

看護職員の負担軽減及び処遇の改善計画

2025年4月1日

- (1) 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する責任者
院長：谷嶋 隆之 看護部長：佐野 ひろみ

- (2) 看護職員の勤務状況の管理
勤務時間：40時間／週
早出・遅出等の柔軟な勤務体制の実施
勤務状況の把握（時間外業務の把握、有給取得数の把握）
夜勤勤務：夜勤明けの翌日は原則休み
夜勤の連続回数は2回まで
11時間以上のインターバル

- (3) 他職種からなる役割分担推進のための委員会及び会議
「月例会」1回／月

- (4) 看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する計画
計画の策定・年1回の見なおしと職員への周知を行う（院内掲示板掲載）

取り組み内容

| 項目 | 取り組み |
|-----------------------|--|
| 業務量の調整 | 1) 業務量に合わせた病棟、外来の応援体制 ・朝のミーティングでその日ごとの人員配置を調整する ・介護、子育て看護師の突然の休みの対応と調整 ・体調不良の休みの対応、調整 2) 超過勤務時間の減少 ・残業は月1人10時間以内を目標とする ・部署間の残業時間格差の減少に取り組む |
| 看護職員と他職種との業務分担 | |
| 薬剤部 | ①患者の持参薬の管理（入院前、入院時面談介入） ②定期、臨時薬の配薬、管理 ③悪性腫瘍製剤・高カロリー輸液の調剤 ④長期間休日時の出勤体制調整 |
| 検査部 | ①外来採血業務実施 ②入院患者の採血介入 |
| リハビリテーション部 | ①病棟担当者を配置し病棟でのトランスファー等のADL動作の指導、相談に応じる |

| | |
|------------|--|
| | ②入院時の ADL 評価・ポジショニング評価の実施 |
| 看護補助者 | ①病棟毎ではなく、業務内容による柔軟な配置等の応援体制 ②夜間勤務者の配置 |
| 多様な勤務形態の導入 | 1) 短時間正社員制度 2) 夜勤免除 3) 時差出勤 4) 配置転換 |
| キャリア形成援助 | 1) 長期間研修中の研修費用負担見直しと勤務形態の見直し |